



## 身近なところから、薬に興味

身近に糖尿病の人がいて、インスリンの注射を食前にしているのを目にする機会がありました。その経験から糖尿病は薬と付き合っていく病気であるという印象があって、薬学に興味を持ちました。

## 色々な選択肢から導いた 本当に学びたいこと

大学進学タイミングで、他の大学や学部、首都圏の大学も選択肢にありました。しかし、自分の中で最も優先したいことを検討し、薬剤師を目指すため富山大学の薬学部薬学科へ入学しました。

## 研究に情熱を注ぎ、学会で受賞

薬学部では3年の後期から研究室配属となります。私は糖尿病に関する研究ができる病態制御薬理学・臨床薬品作用学研究室に入りました。

「聴覚」という新しい着想の実験テーマということもあり、4年次の卒業研究発表会・ポスター発表会において発表した「**音楽刺激によるマウスの糖代謝改善効果**」で、**優秀ポスター発表賞**を受賞しました。

その後も引き続き研究を続け、これまでの研究成果が評価されて教授から学会発表の場をいただきました。

第98回日本糖尿病学会中部地方会では「**聴覚刺激による中枢性代謝調節を介したマウスの糖代謝改善効果**」について発表し、**若手最優秀演題賞**を受賞することが出来ました。

## 患者さんの近くで治療に携わりたいという 思いから、病院の薬剤師に

卒業後は富山大学附属病院に就職し、薬剤師として働く予定です。薬剤師の実習で大学の附属病院にも薬局にも行きましたが、病院のほうが治療に関わっている実感がより強くと感じ、病院で薬剤師として働く道を選びました。



## 母校の後輩へ

自分の目指す将来を思い描き、何を大切にするか考えてみてください。大学には何でもできる可能性が広がっています。後悔することがないように、自分を信じて頑張ってください。

## お世話になった高校の先生へ

ずっと目指していた薬剤師になれそうなところまで来ました。国家試験や卒業も残っていますが、夢をかなえられるよう頑張ります。私の夢と選択を支えていただきありがとうございました。